



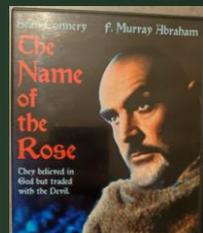
Library Liébana

2024年5月度展示内容のお知らせ

【今月の展示写本】

ウンベルト・エーコによる小説『薔薇の名前』の同名映画化作品で、修道院の写字室(スクリプトリウム:Scriptorium)や図書室が描かれ、たくさんの彩色写本も見る事ができます。

そのなかで、ベアトゥスの黙示録註解書写本からも2点の挿絵がみられます。今月はその2点(ファクンドゥス写本とシロス写本)を展示します。ファクンドゥス写本の挿絵は、日本語版小説の表紙にも使用されました。



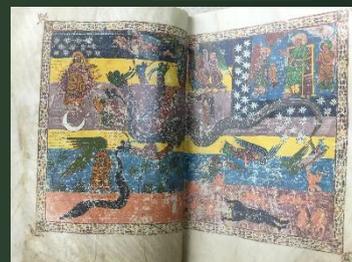
【ベアトゥス黙示録写本より】



(ファクンドゥス写本)
11世紀



(シロス写本)
12世紀



(モーガン写本)
10世紀

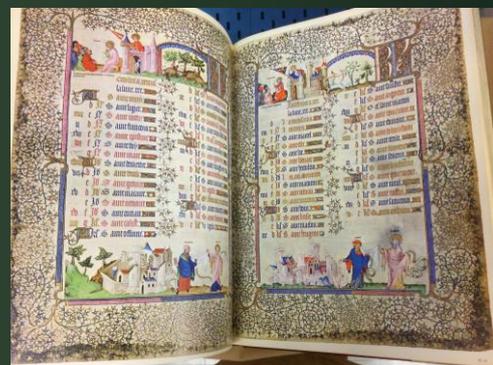
【その他の写本】



(トリニティ黙示録写本)
1230-50年



(道徳聖書)
1220-30



(ベリー侯の大時禱書)
1409年

ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

ファクシミリ本とは:
オリジナル写本の大きさや色を再現。
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に
再現した複製本も多数展示しています。

愛知県豊田市西町5丁目5
VITS豊田タウン B1F
(西町5丁目北交差点の
外側階段を降りて下さい)
10:00~17:00

5月の開館日(予定) 水・木・金・日曜日
(HPで確認下さい)



Google Map



H.P.



Instagram



2024年5月 Library Liébana						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29 (休)	30 (休)	1 10:00 -17:00	2 14:00 -17:00	3 10:00 -17:00	4 (休)	5 10:00 -15:00
6 名古屋博物館 7 7:30入館	7 (休)	8 13:00 -17:00	9 10:00 -17:00	10 (休)	11 (休)	12 10:30 -17:30
13 (休)	14 (休)	15 13:00 -17:00	16 10:00 -17:00	17 10:00 -17:00	18 製本・修復 @EastEnders	19 (休)
20 (休)	21 (休)	22 10:00 -17:00	23 13:00 -17:00	24 10:00 -17:00	25 (休)	26 10:30 -17:30
27 製本・修復 @私書館書庫 MAYU	28 TSUNAGU 寛玉山でバス出陣	29 13:00 -17:00	30 10:00 -17:00	31 10:00 -17:00	(休)	2 せまちブックマル シェ出陣
3 三橋文上りの 朝市出陣	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)	(休)

毎週水・金・土曜開催。10:00開館。19時閉館。19時以降は入館料がかかります。
2日(水)は14時から、8日(水)、15日(水)、23日(水)、29日(水)は13時から
の開催です。5日(日)は15時閉館です。

ベアトゥスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトゥス(ベアトBeato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトゥス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち20写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

今月の展示写本

映画『薔薇の名前』にでてきたベアトゥの黙示録写本を中心に展示します。

【ベアトゥス黙示録註解書：ファクンドゥス写本】

13世紀に制作されたラス ウェルガス写本を除くと、修道院ではなく王室の依頼で制作された唯一のベアトゥス写本です。

系統はモーガン写本と同じⅡ a群です。

大きさは他の写本と比較しそれほど大きくはありませんが、全312葉と一番大部な写本になっています。また、金・銀・紫がふんだんに使用され、豪華な挿絵が98点描かれています。

挿絵の特徴として、その大胆な色彩対比と明快なデザイン性、さらに王家の特注品であるためか、玉座・祭壇等に金彩の使用が目立つ。それにもかかわらずモサラベ特有の繊細な装飾感覚に満ちている。

(参考:ベアトゥス黙示録註解:辻佐保子)

【ベアトゥス黙示録註解書：シロス写本】

サン・スヴェール写本ではすでにカロリング小文字が使用されていたのに対し、シロス写本では依然として西ゴート書体でテキストが書かれていました。さらに12世紀初頭となっても、これまでより一段と精緻な図形化したモサラベ様式の挿絵が描かれています。挿絵の地には江戸小紋のような細かな梅花文がちりばめられ、人体も山岳も動物も完全に扁平で均質な文様世界として描かれています。最後のモサラベ作品といわれるゆえんです。

(「ロマネスク美術とその周辺」辻佐保子 より)

サントドミンゴ デ シロス修道院で制作された本写本は、修道士ムーニョとドミニコが写字を、ペトロスが挿絵を行ったことが書かれています。挿絵をすべて書き終えたのは、写字が終わってから18年後の1109年でした。

【ベアトゥス黙示録註解書：モーガン写本】

奥付けに写字・挿絵をMAIUS(マイウス)が行ったと記載している。当時の写本では写字生などの名前などは記載されないのが普通であったが、ベアトゥスの写本には記載されているものが多い。マドリード写本は枠取りのない挿絵が主であったが、モーガン写本では挿絵に枠取りをして、画面の地を幾つかの帯状色面で抽象的に処理する手法は、輝くばかりの色彩効果や破綻なく図像をまとめ上げる構図上の機能などにおいて、以降の写本の手本になったといえる写本。

(参考:安發和徹モーガン図書館のベアトゥス写本挿絵《天上のエルサレム》について)

【トリニティ黙示録写本】

13世紀半ばに英仏で流行した黙示録の中でも特異な位置にある黙示録。当時の写本としては大判(435×320)の写本で、豪華絢爛に彩色されていることから、高貴な身分の人に献呈されたと考えられる。

【道徳写本(教訓聖書)】

1220年代のパリで作られたものの一つで、現存する唯一のフランス語写本(他はラテン語)。

道徳的な教育のために造られた絵本のようなもので、もっとも有名な挿絵は一番最初に描かれている神の絵で、カオスから円形の宇宙を設計するためにコンパスを使用している創造主神の絵です。

【ベリー公の大時禱書】

ベリー公ジャン(1340-1416)は、大変な写本愛好家で、現存する写本でかつてベリー公の所有にあったと考えられる写本が100冊近く数えられている。「大時禱書」という名前は、ベリー公の財産目録の「きわめて大きく、いとも美しく豪華な時禱書」という記述に由来する。400×300という紙葉の大きさは時禱書としては異例である。

(「中世パリの装飾写本」前川久美子より)